



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年7月28日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
コード番号 6295 URL <https://www.fujihensokuki.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)市原 英孝
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521
四半期報告書提出予定日 2023年7月28日 配当支払開始予定日 2023年9月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,442	△0.4	209	△32.7	226	△30.8	175	△21.2
2022年12月期第2四半期	3,456	10.4	311	60.7	327	55.8	222	58.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	10.54	—
2022年12月期第2四半期	13.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	12,329	10,572	85.8
2022年12月期	12,799	10,733	83.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期10,572百万円 2022年12月期10,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2023年12月期	—	3.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,370	△1.5	555	10.3	580	9.0	390	8.6	23.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	17,955,000株	2022年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	2,004,304株	2022年12月期	1,040,244株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	16,632,476株	2022年12月期 2 Q	16,914,756株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行され、経済活動が正常化へ進む一方、ウクライナ情勢の長期化、長引く円安、原材料価格の高騰の懸念もあり、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、差別化戦略に基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、原価高騰の影響下においても、生産体制の改善等により収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案の推進による受注の獲得と、原価管理に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,442百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は209百万円(前年同期比32.7%減)、経常利益は226百万円(前年同期比30.8%減)、四半期純利益は175百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[減速機関連事業]

設備投資の継続的な需要に支えられ、定番製品に加え無人搬送台車駆動用減速機など、当社が得意とする個別製品をはじめとした、各種産業用減速機の受注が堅調に推移したことにより、売上高は1,915百万円(前年同期比3.1%増)となりました。営業利益につきましては、材料価格高騰の影響等もありますが、売上高の増加により170百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

[駐車場装置関連事業]

主力の「パズルタワー」の新築工事が進捗する一方、前年の大型改造改修案件による反動影響等により、売上高は1,449百万円(前年同期比3.5%減)となりました。営業利益につきましては、売上高の減少や資材価格高騰影響等により、56百万円(前年同期比66.8%減)となりました。

[室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と生産性向上および継続的な原価低減に取り組みましたが、売上高は76百万円(前年同期比20.0%減)、営業損益につきましては17百万円の損失(前年同期は10百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

[資産]

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ470百万円減少し12,329百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が30百万円、原材料及び貯蔵品が21百万円、仕掛品が19百万円、未成工事支出金が11百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産等が422百万円、未収入金を含むその他の項目が35百万円、製品が10百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ384百万円減少し8,521百万円となりました。

固定資産は、保有株式の株価上昇等により投資有価証券が20百万円増加した一方で、減価償却等により有形固定資産が87百万円、無形固定資産が11百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ86百万円減少し3,807百万円となりました。

〔負債〕

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ309百万円減少し1,756百万円となりました。

流動負債は、引当金が22百万円、未払法人税等が15百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が264百万円、未払金を含むその他の項目が77百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ302百万円減少し1,368百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が5百万円増加した一方で、長期リース債務を含むその他の項目が7百万円、役員退職慰労引当金が4百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ6百万円減少し388百万円となりました。

〔純資産〕

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ160百万円減少し10,572百万円となりました。

これは、利益剰余金が124百万円、その他有価証券評価差額金が14百万円増加した一方で、自己株式の取得が299百万円あったことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ1.9ポイント増加し85.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

現金及び現金同等物(以下「資金」という)の第2四半期会計期間末残高は、4,465百万円(前事業年度末4,434百万円)となりました。

これは、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの合計が30百万円増加したことによるものであります。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による資金は、449百万円の増加(前年同期は661百万円の増加)となりました。

これは主に、仕入債務の減少259百万円、棚卸資産の増加41百万円、法人税等の支払73百万円による減少があった一方で、売上債権の減少430百万円、税引前四半期純利益259百万円、減価償却費110百万円による増加があったことによるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金は、60百万円の減少(前年同期は43百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出61百万円があったことによるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金は、358百万円の減少(前年同期は59百万円の減少)となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出299百万円、配当金の支払50百万円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、景気の緩やかな回復が続くことが期待されるものの、長期化するウクライナ情勢等の地政学的リスクや、原材料価格の更なる高騰、各国の金融引き締め政策による景気下振れリスクなど、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、2023年12月期の業績予想につきましては、現時点では2023年2月3日に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,434,723	4,465,670
受取手形、売掛金及び契約資産等	3,087,591	2,665,158
製品	34,589	24,467
仕掛品	633,390	652,541
未成工事支出金	22,563	34,120
原材料及び貯蔵品	570,113	591,283
その他	131,987	96,275
貸倒引当金	△9,474	△8,123
流動資産合計	8,905,483	8,521,393
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,606,480	2,613,736
減価償却累計額	△2,018,702	△2,046,604
建物（純額）	587,777	567,132
機械及び装置	2,630,249	2,631,032
減価償却累計額	△2,068,975	△2,123,481
機械及び装置（純額）	561,274	507,550
土地	1,605,233	1,605,233
建設仮勘定	-	3,673
その他	1,086,577	1,080,598
減価償却累計額	△961,806	△972,566
その他（純額）	124,771	108,031
有形固定資産合計	2,879,056	2,791,620
無形固定資産	45,264	33,772
投資その他の資産		
投資有価証券	508,868	529,163
その他	461,120	453,068
投資その他の資産合計	969,988	982,232
固定資産合計	3,894,309	3,807,626
資産合計	12,799,793	12,329,019

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,225,308	961,300
未払法人税等	96,636	112,328
引当金	54,116	77,111
その他	295,072	217,441
流動負債合計	1,671,134	1,368,182
固定負債		
退職給付引当金	326,119	331,135
役員退職慰労引当金	34,420	29,800
その他	34,659	27,428
固定負債合計	395,198	388,363
負債合計	2,066,333	1,756,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	4,401,035	4,525,647
自己株式	△198,119	△497,941
株主資本合計	10,607,370	10,432,161
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	126,089	140,312
評価・換算差額等合計	126,089	140,312
純資産合計	10,733,459	10,572,473
負債純資産合計	12,799,793	12,329,019

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,456,706	3,442,240
売上原価	2,706,887	2,785,481
売上総利益	749,818	656,758
販売費及び一般管理費	438,340	447,042
営業利益	311,478	209,716
営業外収益		
受取利息	104	111
受取配当金	12,473	10,750
保険配当金	1,154	2,989
その他	2,214	3,292
営業外収益合計	15,946	17,143
営業外費用		
自己株式取得費用	-	271
減価償却費	169	169
その他	1	1
営業外費用合計	171	442
経常利益	327,254	226,416
特別利益		
受取補償金	-	33,500
特別利益合計	-	33,500
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	327,254	259,916
法人税、住民税及び事業税	88,086	88,598
法人税等調整額	16,501	△4,038
法人税等合計	104,588	84,560
四半期純利益	222,665	175,356

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	327,254	259,916
減価償却費	114,351	110,460
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,219	△1,351
引当金の増減額 (△は減少)	△16,650	22,994
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△14,513	5,015
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△6,526	△2,858
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,470	△4,620
受取利息及び受取配当金	△12,578	△10,861
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	751,407	430,206
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△231,123	△41,756
仕入債務の増減額 (△は減少)	568	△259,306
前払費用の増減額 (△は増加)	△17,549	△11,677
その他	△90,691	16,190
小計	805,197	512,353
利息及び配当金の受取額	12,585	10,873
法人税等の支払額	△156,512	△73,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	661,270	449,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,526	△61,369
無形固定資産の取得による支出	△9,020	△2,453
その他	△197	3,735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,743	△60,087
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△50,762	△50,782
自己株式の取得による支出	-	△299,821
その他	△8,800	△8,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,563	△358,705
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	557,964	30,946
現金及び現金同等物の期首残高	4,500,257	4,434,723
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,058,221	4,465,670

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式964,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において、自己株式が299百万円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が497百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,858,268	1,502,688	95,749	3,456,706	—	3,456,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,675	—	—	47,675	△47,675	—
計	1,905,944	1,502,688	95,749	3,504,382	△47,675	3,456,706
セグメント利益又は損失(△)	150,786	171,485	△10,792	311,478	—	311,478

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,915,718	1,449,926	76,594	3,442,240	—	3,442,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,517	—	—	38,517	△38,517	—
計	1,954,236	1,449,926	76,594	3,480,757	△38,517	3,442,240
セグメント利益又は損失(△)	170,734	56,944	△17,962	209,716	—	209,716

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。